

## 平成 28 年度県立大師高等学校 不祥事ゼロプログラム

県立大師高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的にして、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

### 1 実施責任者

大師高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長・教頭及び事務長がこれを補佐する。また、不祥事ゼロプログラムに係る担当総括教諭をはじめとする総括教諭は、校長及び副校長・教頭を補佐し、事務長を補助する。

### 2 目標及び行動計画

目標

- ①法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）
- ②わいせつ・セクハラ行為の防止
- ③体罰、不適切な指導の防止
- ④成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止
- ⑤個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）
- ⑥交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守
- ⑦業務執行体制の確保等（情報共有、定期テスト、成績処理等相互チェック体制、業務協力体制）
- ⑧会計事務等の適正執行

### 3 検証及び評価

#### （1）第一次検証及び評価

2に規定する行動計画について、9月末までの実施状況を確認し、評価を行う。未実施の場合には11月中に必要な補完措置を講じる。

#### （2）第二次検証および評価

2に規定する行動計画について、1月初旬までの実施状況を確認し、評価を行う。未実施の場合には2月中に必要な補完措置を講じる。

#### （3）最終評価及び全体評価

第二次検証および評価に基づいて実施した補完措置や行動計画の修正などについて、実施状況を確認し、実施した行動等の評価を行う。最終検証を行うとともに、全体評価を行う。最終評価及び全体評価の実施時期は、平成29年3月中旬とする。

#### （4）プログラム実施の総括

最終評価及び全体評価を踏まえ、平成28年度事不祥事ゼロプログラムの総括を行う。

#### （5）次年度計画の策定

平成28年度不祥事ゼロプログラムの総括をもとに、新たな目標設定を行い、平成29年度不祥事ゼロプログラムを策定する。

### 4 実施結果

3の（4）のプログラム実施の総括を踏まえ、「実施結果」をとりまとめ、教育局行政課へ提出する。

5 事務局

プログラムの策定及び実行の具体的な手続きについては、企画会議（事故防止会議）がこれを行う。

平成 28 年度・大師高等学校不祥事ゼロプログラム年間行動計画

課題	①個人情報管理の徹底	②適正な私費会計・現金管理	③ 適切な業務執行体制	④体罰・不適切指導の防止	⑤セクハラ・わいせつ行為の防止	⑥交通事故・公務外非行防止
4月	カリキュラム研修会で申合せ事項の確認	会計担当者による管理体制の確認	業務体制の確認	啓発資料配布		
5月	個人情報持ち出し簿の確認	予算と執行についての研修会	教職員の服務意識啓発	生徒連絡協議会で情報共有	啓発資料の配布 ・部活動 ・教育実習	啓発資料掲示 ・酒酔い運転
6月	PC・USBの一斉点検	私費執行の研修会	文書保存と廃棄についての確認	アンケートによる調査	教育実習に向け啓発資料の配布	運転免許等更新の確認
7月	啓発資料配布	事故防止全体会議で啓発資料配布	各グループ起案文書等の点検	生徒連絡協議会で情報共有	事故防止全体会議で啓発資料配布	事故防止全体会議で啓発資料配布
8月	カリキュラム研修会で体制確認	私費執行状況の確認	廃棄文書・廃棄物の確認	ケース会議や支援体制の確認	チェックシートによる中間点検	
9月	事故防止全体会議で啓発資料配布	中間監査に向けての前期締め切り管理体制の再検討	啓発資料配布	事故防止全体会議で啓発資料配布	事故防止全体会議で啓発資料配布	事故防止全体会議で啓発資料配布
10月	個人情報持ち出しの中間確認	中間監査	事故防止全体会議・調査書作成点検	事故防止全体会議・懲戒処分事例		事故防止全体会議 ・交通違反防止 ・事故対応
11月	チェックシートによるセキュリティ点検	中間監査後の確認	備品管理体制の見直し	外部講師による人権研修会	事例による研修	
12月	事故防止全体会議で啓発資料配布	3年次の会計締め切り、返金確認	事故防止全体会議で啓発資料配布	事故防止全体会議で啓発資料配布	事故防止全体会議で啓発資料配布	啓発資料配布
1、2月	PC・USBの一斉点検	年度末最終執行の確認	事故防止全体会議 ・入学者選抜 ・試験問題管理			不祥事防止のための個別相談
3月	紙媒体廃棄・電子媒体削除	年度末会計処理と返金確認	年度末文書保存の状況確認	年度末のまとめ		
②③を中心に上記の予定で研修を行う						

